

キリストの生涯

The life of Christ

マタイの福音書
を基礎として



第4巻

受難期



評価版

Compendium of PASTORAL THEOLOGY (牧会学の概論)

キリストの生涯 IV (マタイの福音書を基礎として)

The life of Christ (Based on the Gospel according to St. Matthew)

出版・発行：Grace House Okinawa.

2020 年 6 月 評価版

キリストの生涯はマタイの福音書に基づいて編集されています：第四巻は既存の物とは全く異なった教育課程の研究室、教会のミニストリーの部門、クリスチャンと宣教師連合の提携によって準備されました。このプロジェクトは Seminario por Extension Anglicano (SEAN), Vina del Mar, Chile, South America. と共に協力し責任を持って企画しました。

この牧師神学の概論の全 6 巻のシリーズは既存の物とは全く違った教育課程の研究室によって、牧師訓練のプログラムの基本的なユニット(単元)として制作されました。このテキストを通して、基本的な牧師のスキル(技術)を学ぶために計画された、学習のプロセスを学ぶ人たちに紹介しています。同じ題材(資料、データ)を学ぶ他の人々と同様に、個人指導の教師(tutor)を定期的な期間(段階的に)相互に良い影響を与えるように紹介されます。

実際の宣教活動を経験に移すときには、この学習に対して、丁重に敬意を示す姿勢が必要です。第四巻は、マタイの福音書の続編です。このテキストで述べられているスキル(技術)をすでにマスター(習得)したものだけが、このテキストを使うことができます。この第二巻のテキストは、最初のテキストのように神学的論点(問題)を広範囲に渡って熟考されていると同時に、牧師の宣教活動に実際に役立つ見方をも考えていきます。

この概論の編集は、この印刷の時期に入手可能な、新改訳、新共同訳、口語訳の引用文を用いて校訂しています。

THE LIFE OF CHRIST (Based on Matthew's Gospel)

SEAN International Ministries

Copyright SEAN INTERNATIONAL

学生の皆さんへ：

この第4巻は、第3巻「活動期」の続編ですので、このコースの10週を最初に履修した学生以外は、第4巻の学び登録はできません。

聖マタイによる福音書を基礎としたキリストの生涯のこの第3巻の「活動期」で、あなたは下記のことかわかるでしょう：

1. このテキストの25課の学習過程を通して、イエスの公的宣教活動の最初の年、つまり準備期を様々な角度で吟味し話し合います。
2. このテキストの巻末にある図形(地図と図表)を併用しながら学びます。

あなたがこのテキストを学ぶためには、下記の物が必要です：

1. 少なくとも1冊以上の聖書（日本語に翻訳された聖書、または英語の聖書）、このテキストは新改訳(新共同訳)を用いています。
2. ペンか鉛筆
3. 色鉛筆、または、カラーペン（赤、青、緑、黄色）

中心となるリーダーは、あなたがこのテキストの第3巻を最後までやり遂げるために、説明し手助けをします。そしてあなたがこのコースを学んでいる最中に生じてくる、いろいろな質問に答えてくれるはずです。

目 次

ユニット A

第 1 課： 受難期の分析	11
第 2 課： 退かれた時期	21
第 3 課： バプテスマのヨハネの死	35

ユニット B

第 4 課： 5000人の給食	49
第 5 課： 人間、恐れ、そして心理学的な適応	61
第 6 課： 伝統的習慣、理由または黙示(啓示)	81

ユニット C

第 7 課： 人間：神の似姿(イメージ)	99
第 8 課： 人間：罪人	111

ユニット D

第 9 課： 天使と悪魔	129
第 10 課： ペテロ、岩、そしてローマ教皇の位	143

ユニット E

第 11 課： 人間と死の問題	161
第 12 課： 人間とその肉体：イエスの変容	173
第 13 課： 人間とその霊：心霊主義	187

ユニット F

第 14 課： ネガティブ(消極的)な人間関係	203
第 15 課： ポジティブ(積極的)な人間関係	217

ユニット G

第 16 課：	明け渡された時期：ユダヤでの宣教活動	235
第 17 課：	明け渡された時期：ペレヤでの宣教活動	251
第 18 課：	サマリヤ人	265

ユニット H

第 19 課：	人間と性	285
第 20 課：	人間と結婚	301
第 21 課：	人間と家庭	315

ユニット I

第 22 課：	人間と所有物	333
第 23 課：	人間と神	343

ユニット J

第 24 課：	人間の野望	359
第 25 課：	旅の終わりに：エリコ	371

付 録

附 録 1：	地 図	387
附 録 2：	図 表	393
附 録 3：	テスト	399

ユニット(単元) A

ゴール (目標)

この単元を学び終えたとき、あなたは下記のことできるようになります。

1. 受難期を 2 つの時期に分けましょう。そしてその時期の聖書箇所を示しましょう。
2. 主題、原文、地理学上の構成の相違点を説明しましょう。
そして地理学的構成に基づいて、受難期にイエスが退かれた時期を分析しましょう。
3. パレスチナの地図に基づいて、イエスが退かれた時期にガリラヤ地方の外側を訪れられた 3 つの場所を見分けましょう。そして各々の旅路で起こったエピソードを語りましょう。
4. ヘロデ・アンテパスとヘロデヤ、そして、バプテスマのヨハネとの関係を説明しましょう。
そしてガリラヤの外側へと最初に旅をされた理由を説明しましょう。
あなたはまた、なぜ聖書の歴史が真実であるかがわかる、1 つの方法を説明することができます。
5. イエスが家族の生活の安定を教えられている聖書箇所を示しましょう。
そして聖書の説教かメッセージの中で、家族の安全についての実例を、少なくとも 2 つのポジティブと 2 つのネガティブの実例を用いましょう。

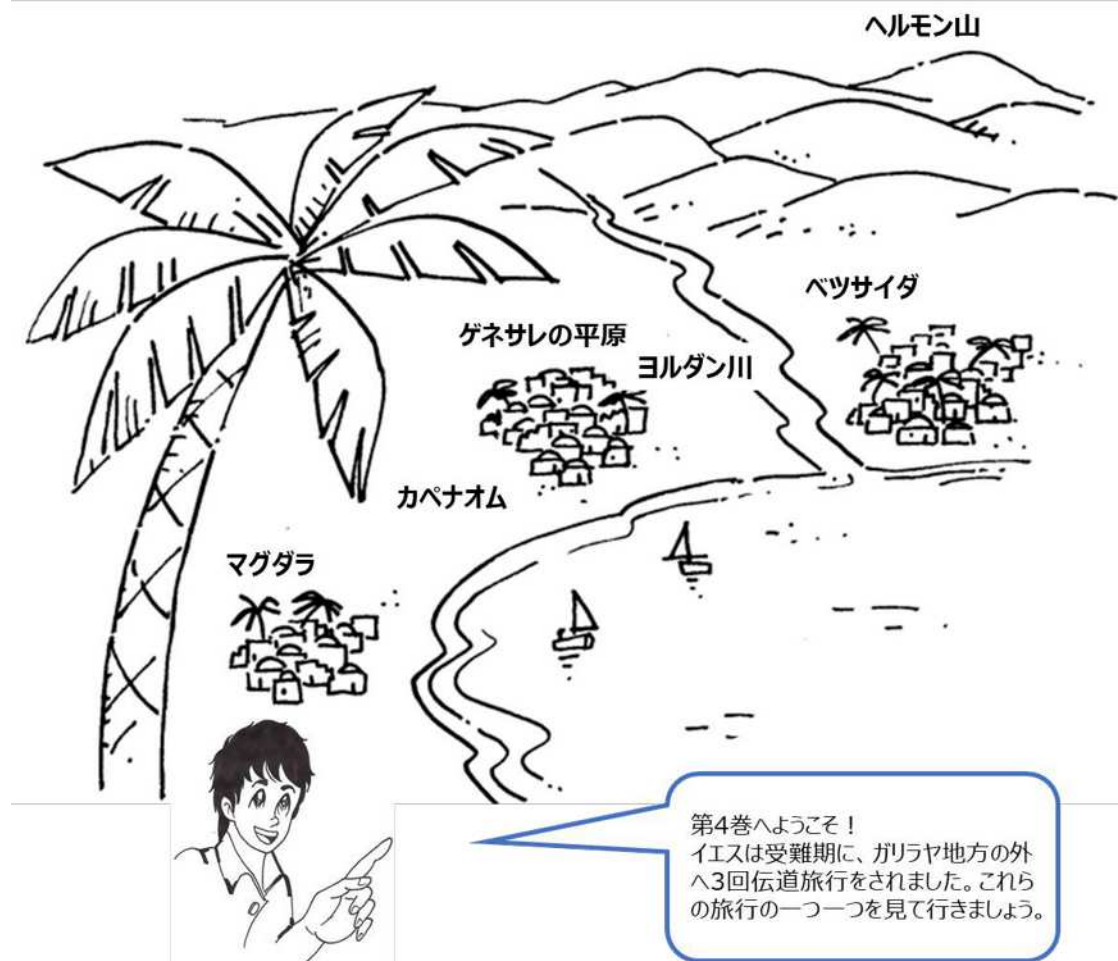
宣教活動のスキル：

聖書の学習：分析の技法

説教

第1課 (LESSON 1)

受難期の分析 (Analysis of the Year of Passion)



76.1 あなたの聖書のマタイ 14 章を開きましょう。私たちは、今、第 4 のブリッジ(架け橋)を渡る箇所の学習に到達しました。それは、私たちを活動期から_____へと導き入れて行きます。

この最後の宣教活動での出来事は、マタイの福音書の_____章から_____章で語られています。

76.2 マタイ 19:1 を読みましょう。

受難期の初期にはイエスの拠点は活動期に滞在されたカペナウムにありました。しかし、今や、状況が変わりました。イエスはほとんどその家にはおられませんでした。イエスは敵対する者との衝突を避けるために、人里離れた場所に退かれる必要がありました。このような状況で、イエスが_____の町のご自身の家を最終的に去られ、_____地方に行かれるまで丸 6 ヶ月、続けました。

76.3 このような理由で、受難期は 2 つの期間に分けられ、それぞれ 6 ヶ月した。

最初の 6 ヶ月を、私たちは、退かれた時期と呼んでいます。退かれた時期にはイエスの家はカペナウムにありましたが、イエスの姿はそこでは、あまり見かけられませんでした。イエスにとっては、敵から遠く離れた、へんびな場所で、休息を見いだされることがしばしば必要でした。この期間、イエスはあえて敵を避け、遠ざけられました。なぜなら、まだイエスが死なれる時期ではなかったからでした。

二番目の 6 ヶ月の期間を、私たちは明け渡された時期と呼んでいます。明け渡された時期の始めにイエスはガリラヤを去られました。イエスは 6 ヶ月後に私たちのために、十字架上でご自身のいのちを捨てるために、エルサレムに向かって進まれました。

下記のリストを書きましょう：

退かれた時期に関する記述には「退」、明け渡された時期に関するものには「明」を記入しましょう。

- a. _____ イエスはカペナウムに家を持っておられました。
- b. _____ イエスはガリラヤに住んでおられましたが、しかし敵から遠く離れた場所に行くようにされました。
- c. _____ イエスはユダヤ地方のエルサレムに向かって旅をされました。
- d. _____ イエスはカペナウムとガリラヤ地方を去られました。

イエスは恐怖や危険から逃げるために退かれたのではないことに注意しましょう。

イエスは敵との不必要な衝突や争いを避けるために退かれました。

なぜなら、イエスが死なれる時期はまだ来ていなかったからでした。

解 答

76.1 受難期、14、27、 76.2 カペナウム、ユダヤ、

76.3 a. 退 b. 退 c. 明 d. 明

76.4 受難期は 2 つの時期から成っています。マタイ 14－27 章を含んでいます。

マタイ 19：1 はイエスがガリラヤ地方に去られたことを語っています。そこで次のことがわかります：

a. 受難期の最初の 6 ヶ月は、退かれた時期と呼ばれ、その聖書箇所は

マタイ _____ 章です。

b. 受難期の最後の 6 ヶ月は、引き渡された時期と呼ばれ、その聖書箇所は

マタイ _____ 章です。

練習：下記に示された受難期の 2 つのタイトルを赤のペンか鉛筆で書きましょう。

1. 退かれた時期 マタイ 14：1

2. 明け渡された時期 マタイ 19：1

76.5 下記の文章を完成させましょう：

a. 最初の 6 ヶ月は _____ 時期でした。

それはマタイ _____ 章にあります。

b. この時期のイエスの宣教活動はどのようでしたか。

c. 最後の 6 ヶ月は _____ 時期でした。

それはマタイ _____ 章にあります。

d. この時期のイエスの宣教活動はどのようでしたか。

76.6 良くできました！ではこのテキストのマタイ 14－18 章の最初の時期を分析しましょう。

分析の基礎は、ちょうどビーズでつながれたネックレスのように、異なった各々の文節から成る考え方の道筋を識別していくことです。

異なった文節を全部、結び合わせていく考え方の道筋を何と言いますか。

1. _____ その構成(組立)

2. _____ その始まり

3. _____ そのタイトル(表題)



解 答

76.4 a. マタイ 14－18 b. マタイ 19－27

76.5 a. 退かれた、14－18

b. イエスの家はカペナウムにあって、人里離れた寂しい場所に退かれました。

c. 明け渡された、19－27

d. ガリラヤ地方を去られて、死ぬためにエルサレムに向かって旅をされました。

76.7 分析の技法の基礎を用いると、聖書の文節の構成を識別することができます。

下記のリストのうち 4 つの項目は、同じ構成に属しています。その 4 つの言葉を見つけてください。

- a. _____ カペナウム d. _____ デカポリス
b. _____ 馬 e. _____ ガリラヤ湖
c. _____ ツロとシドン

76.8 前問の 4 つの項目に関連した構成を見つけることは簡単ではありません。2 つは町名、1 つはパレスチナの地方の名前です。そして最後は湖の名前です。

上記のリストの 4 つの項目を結びつけている構成は何ですか。

- a. _____ それら 4 つは全部、町の名前です。
b. _____ それら 4 つは全部、地理的な場所です。
c. _____ それら 4 つは全部、ローマの地方です。
d. _____ それら 4 つは全部、海岸です。

76.9 私たちが活動期を分析するとき題材の本質に基づいていますか。それとも、主題の構成に基づいていますか。それはまた所在地や地域に基づいて分析することもできます。

これは地理学的な構成です。聖書の原文そのものに基づいて分析することもできます。この種の構成は原典どおりの構成です。

テキストの第 1 巻で、キリストの生涯の 5 つの段階と導入を学んだことを思い出しましょう。

3 種類の構成の実例をこの簡潔な分析に用いて、キリストの生涯の 5 つの段階を復習しましょう。

下記の空欄に記入しましょう。

A.	B.	C.
5 つの段階	関連のある場所	マタイの聖書箇所
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		

解 答

76.7 a. c. d. e. 76.8 b.

76.9 導入 1

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1. 幼年期 | ベツレヘム | 2 章 |
| 2. 準備期 | ナザレ | 3 章 — 4:11 |
| 3. 活動期 | カペナウム | 4:12 — 13 章 |
| 4. 受難期 | エルサレム | 14 — 27 章 |
| 5. 復活期 | あらゆる国々 | 28 章 |